第Ⅲ章教 育 課 程

第 章 教育課程

第1節 教育目的の教育課程及び教育方法等への反映

(1) 事実の説明(現状)

建学の精神・音楽専攻科の基本理念及び社会的需要に基づいた教育目的・目標の設 定

大学専攻科では、建学の精神を理念として、「専攻科は、音楽大学の基礎の上に立ち 専門技術研究を発展させ、かつ、社会の音楽活動に直結し実践的性格をもつ特別の専門 課程による教授を行い、音楽に関する専門技術者養成を目的とする。」(大阪音楽大学音 楽専攻科規則第2条)と、その教育目的・目標を設定している。

教育目的の達成のための教育課程の編成方針

大学専攻科の教育目的・目標は、大阪音楽大学音楽専攻科規則第2条にもとづき、音楽大学の基礎の上に立ち専門技術研究を発展させ、かつ、社会の音楽活動に直結し実践的性格をもつ特別の専門課程による教授を行うことである。

教育目的の教育方法等への反映

「大学卒業に引き続き、1年間の課程を経て実社会で活躍する専門技術者を養成する」という教育目的を実現するために、内外の著名な演奏家や作曲家、研究家などによる質の高い演奏教授と深い学識に触れ得る場としてふさわしい「特別講義」を各専攻に用意している。また、社会人としての広い視野を持ち、主体的に社会の中での音楽活動・実践力を養うべく外部施設での公的演奏会「オータム・コンサート(全員参加)」の機会(特別演奏実習)を複数回設けている。そこでは専門家として必要な企画・制作・演奏の能力を体験的に修得すると同時に、学内の他専攻との交流や経験豊かな社会人とのコラボレーションの場となっている。そのような場では、必然的に音楽家として大切なヒューマンリレーションの力が要求され、社会人としての広い視野を持った音楽専門技術者を育成することに繋がっている。

音楽大学の基礎の上に立ち専門技術研究を発展させることが、教育目標に謳われているとおり、大学施設(ザ・カレッジ・オペラハウス、ミレニアムホール)での各種演奏会出演の機会(オーディションも含む)も各学生に用意している。

(2)第1節の自己評価

「特別演奏実習 I (2 単位)」、「特別演奏実習 II (2 単位)」として開講されているオータム・コンサートは、1995 年 10 月より開催されており、過去 3 ヶ年の開催状況は 2003 年度 5 回、2004 年度 4 回、2005 年度 3 回となっている。開催時期については秋季に集中しており、準備等が集中することも含めて学生の負担が大きいようにも感じることもある。しかしながら、プログラム作りから進行・司会役まで学生達によって行われ、音楽活動への積極性の向上に極めて有効な演奏実習であり、学生達にとって学修に対する大きな充実感を得ると共に、音楽活動の実践能力の向上に大きく貢献する実習となって

いる。表 2 にオータム・コンサートの開催状況(2001~2005 年度)を示す。

表 2 オータム・コンサートの開催状況 (2001~2005年度)

年度	会 場	開催日	開演時間	内 容		入場者数
2 0 1 年 度	青山ホール(三重県)	10/7(日)		オープニング:フルートとピアノ「里の秋」 ショパン「バラード3番」 シューマン「アダージョとアレグロ」 クリング「象とハエ」 プッチーニ「(ジャンニ・スキッキより) ああ、私のいとしいお父さん」 チャイコフスキー「(くるみ割り人形より) 花のワルツ」 モーツァルト「(コシ・ファン・トゥッテより) 6 重奏 デスピーナ、私の友達を紹介しましょう」 モーツァルト「(ドン・ジョヴァンニより) ドン・ジョヴァンニとツェルリーナのアリア 君の手を取り・・・」 モーツァルト「(魔笛より) 夜の女王のアリア この心は怒りに燃え」 その他(「オーソレミオ」、「帰れソレントへ」、「フニクリ・フニクラ」、「タイム・トゥ・セイ・グッドバイ(2001 専攻科バージョン)」)	26名	72名 (一般)
	綾部市立病院	10/13(土)	16:00	フルートソロ、ヴァイオリンソロ、歌の二重奏	5名	30 (一般)
	京都府中丹文化会館	10/14(日)		バーンスタイン「ウェストサイドストーリー」より「アメリカ」 フンパーティンク「ヘンゼルとグレーテル」より「ガサゴソ言 うの何の音?!」 エルガー「威風堂々」 モンティー「チャールダーシュ」「ハンガリアンラプソディー」 ドップラー「アンダンテとロンド」 楽しい重奏コーナーでは、「アメリカンデュエット」、「象とハ エ」を演奏。モーツァルトの部屋では(オペラ:フィガロの結婚より)「30・・・40・・・」、「奥様方、御用の時は」、「まだまだ望みを失っちゃいけないわ」を演奏。ミュージカルよりでは「チムチムチェリー」、「魅惑の宵」を行う。 その他(「ふるさと四季」)		700名 以上 (一般)
	由良中学校	10/20(土)	10:45	ラヴェル「水の戯れ」	9名	100

1	(兵庫県)	ſ		モーツァルト「フィガロの結婚」より、「30・・・40・・・」、		(一点)
	(共熚県)					(一州文)
				「奥様方、御用の時は」、「まだまだ臨みを失っちゃいけないわ」		
				を演奏。ミュージカル、キャッツより「メモリー」を演奏。管		
				弦楽アンサンブルでは「日本の童謡メドレー」、「タイタニック」		
				を演奏。その他(由良小唄)		
	しづかホール	10/20(土)	15:00	ショパン「バラード3番」	ı	
	(兵庫県)			モンティー「チャールダーシュ」	,	
				ドップラー「アメリカンデュエット」		
				クリング「象とハエ」	26 名	350名
				フンパーティング「がさごそ言うの何の音?!」	20 7	(一般)
				モーツァルト「パパパの二重唱」		
				その他((映画:マイフェアーレディーより「踊り明かそう」、	•	
				ウェストサイドストーリーより「トウナイト」))		
2		10/6(日)	14:40	モーツァルト「セレナード 13 番 アイネ クライネ ナハト		
0	LIC はびきの			ムジーク」		
0				スクリャービン「ノクターン 左手のための 2 つの小品 作品	1	
2				9-2		
年				- バッハ・グノー「アヴェ マリア」	Ī	200名
度				クラーク「トランペット・ヴォランタリー」	26 名	(一般・
				バッハ「幻想曲 ト長調 BMV572」		幸楽会)
				チャイコフスキー「(くるみ割り人形より) 行進曲、こんぺい	,	1-7627
				糖の精の踊り、トレパーク、花のワルツ」		
				シュトラウス「(こうもりより) 乾杯の歌	ı	
				マュトノウム ((こ)もりより) 紀州の歌」 その他 (「ふるさと四季」)	,	
	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	40/40/1)	44.00			00 7
	ミレニアムホー	10/19(土)	14:00	クラープトン「(クラブサン曲集 組曲 ハ長調より) プレリ	25 名	92名
	/レ (L.W)			ュード パッサカリア」	,	(一般)
	(本学)			パイジェッロ「うつろな心」	i.	
				スカルラッティ「すみれ」	·	
				バッハ「ヴァイオリンとチェンバロのためのソナタ, ト短調		
				BWV1020J	1	
				バッハ「ヴァイオリンとチェンバロのためのソナタ第 2 番,		
				イ長調 BWV1015」		
				モーツァルト「アヴェ ヴェルコム コルプス K618」		
				横山菁児「マリンバとピアノのためのカプリス(竹田の子守唄		
				による)」		
				ヴィヴァルディ「2つのトランペットのための協奏曲 ハ長調	,	
				P, 75]		
				スクリャービン「(左手のための 2 つの小品より) ノクターン	•	
				0p9-2J		
ı	I	I	l		l.	1 1

				ブラームス「(ハンガリー舞曲より) 第5番 嬰ヘ短調 第1		
				番「大短調」		
				その他((四季三昧より)「秋三昧」)		
		10/22(火)	14:30	モーツァルト「セレナータ(アイネ クライネ ナハト ムジ		
	青山ホール	10, 22 0 0,	11.00	⊢ ⊅)।		
				へンデル「(組曲 ホ長調 HWV430より) エアとヴァリエーシ		
				ョン(調子のよい鍛冶屋)」		
				モーツァルト「(魔笛より) パパパの二重唱		
				リベルタンゴ「ピアソラ」		341名
				ドヴォルザーク「(スラブ舞曲より) Op. 46-5, Op. 46-8」	26 名	(小学校
				小林秀雄「まっかな秋」		高学年)
				岡野貞一「もみじ」		
				その他((映画:天子にラブソングを、千と千尋の神隠しより)		
				[Hail Holy Queen], [Traditional], [Oh! Happy day], [V		
				つも何度でも」)		
	今津文化会館	10/31(木)	18:00	スクリャービン「ノクターン Op. 9-2」		
	(滋賀県)	10/01(///	10.00	小林秀雄「落葉松」		
	(四貝尔)			コハヤガル 「谷来仏」 ユン・イサン「ピョンジ」		122名
				ピアソラ「リベルタンゴ」	25 名	(一般・
				モーツァルト「(ドン・ジョバンニより) 手を取り合って」	=	幸楽会)
				その他(「秋三昧」)		
2	ミレニアムホー	10/0/日)	17:20			
	レーノムホール	10/6(月)	17:30	ホルスト「(惑星より)木星」		
0				小坂友宏「孤愁」		
3				モーツァルト「トルコ行進曲」		
年				モーツァルト「グロリア」		
度				モーツァルト「アヴェ・ヴェルム・コルプス」		40 名
				ドニゼッティ「(愛の妙薬より) 愛しい妙薬」	23 名	(一般)
				ラヴェル「ソナチネ」		
				クンツェ&レヴァイ「(エリザベートより) 夜のボート」		
				ロウ「(マイ・フェア・レディより) 踊り明かそう」		
				エルガー「威風堂々」		
				その他 (「朧月夜」、「茶摘」、「紅葉」、「雪」、「夕焼小焼」)		
		10/9(木)	13:40		23 名	800名
	学校			ホルスト「(惑星より) 木星」		(中学1
				ドニゼッティ「(愛の妙薬より) 愛しい妙薬		~3年
				エルガー「威風堂々」		生)
				その他 「赤とんぼ」、「少年時代」、「夕焼小焼」、「ふるさとの		
				四季」		
1		ı	l			I.

ſ						
	京都府中丹文化	10/19(日)	14:00	ロジャース (サウンド・オブ・ミュージックより)「サウンド・	22名	650 名
	会館			オブ・ミュージック」、「1人ぼっちの羊飼い」、「もうすぐ17		(一般・
				才」、「すべての山に登れ」		幸楽会)
				宮城道雄「手事」		
				ホルスト「(惑星より) 木星」		
				プッチーニ「(オペラ:ジャンニ・スキッキより) 私の大好き		
				なお父さん」		
				モーツァルト「(魔笛より) パ・パ・パ!」		
				レハール「(メリーウィドーより) くちびるは黙しても」		
				公浦伸吾「ベストフレンド」		
				小坂友宏「青と緑の窓をあけて」		
				ヴェルディ「(椿姫より) 乾杯の歌」		
				シャーマン「小さな世界」		
				その他(「赤とんぼ」、「少年時代」、「明日があるさ」、「朧月夜」、		
				「茶摘」、「紅葉」、「雪」、「夕焼小焼」)		
	今津文化会館	10/25(土)	18:00	ビゼー「(カルメンより) 序曲、ハバネラ、闘牛士」	23 名	300 名
				パッヘルベル「パッヘルベルのカノン」		(一般)
				ラヴェル「ソナチネ」		
				GONTITI「放課後の音楽室」		
				モーツァルト「グロリア」		
				モーツァルト「アヴェ ヴェルコム コルプス」		
				その他(「ゆかいに歩けば」、「カチューシャ」、「この星に生ま		
				れて」、「ふるさとの四季」、「五十鈴川」、「少年時代」、「吹奏楽		
				のための民話」、「(椿姫より) 乾杯の歌」、「小さな世界」)		
	ミレニアムホー	10/12(火)	17:30	LA de Francis	23 名	73名
	ル			小倉 朗「ほたる」		(一般)
				山田耕筰「赤とんぼ」		
				山田耕筰「ペチカ」		
:				チャイコフスキー「くるみ割り人形」		
:				ファリャ「スペイン民謡組曲」		
				ドップラー「ハンガリーの主題による小二重奏曲」		
				ベネディクト「みそさざい」		
				プッチーニ「(ジャンニ・スキッキより) 私の大好きなお父様」		
				ドヴォルザーク「(ルサルカより) 月に寄せる歌」		
				モーツァルト「(ドン・ジョヴァンニより)手を取り合って」		
				モーツァルト「(ドン・ジョヴァンニより) 暗闇にたった一人で」		
				で一フテルト「(トン・ンョリアンーより) 暗闇にたつだ一人で]		

			その他(「さくら幻想」、「(魔笛より)復讐の心は地獄のように」、		
			「(魔笛より) パパゲーノとパパゲーナの二重唱」、「(天使にラ		
			ブソングをより) Hail holy queen」)		
LICはびきの	10/16(土)	14:00	ヴェルディ「(椿姫より) 乾杯の歌」	23 名	350 名
			マスカーニ「アヴェ マリア」	•	(一般)
			モーツァルト「(魔笛より) 復讐の心は地獄のように」	•	
			モーツァルト「(魔笛より) パ・パ・パの二重唱」	•	
			チャイコフスキー「くるみ割り人形」	•	
			- 宮城道雄「春の海」	•	
				i	
			 秋みつけた」、「赤とんぼ」、「ペチカ」、「冬の歌」、「川の流れの		
			ように」)		
今津文化会館	10/31(日)	14:00	小倉 朗「ほたる」	23 名	350 名
			 山田耕作「赤とんぼ」	•	(一般
			ファリャ「スペイン民謡組曲」		
			ドップラー「ハンガリーの主題による小二重奏曲 Op. 36」		
			宮城道雄「虫の武蔵野」		
			Traditional [When the saints go marching in]		
			Hawkins 「Oh happy day」		
			Traditional [Amazing grace]		
			ベネディクト「みそさざい」		
			プッチーニ「(ジャンニ・スキッキより) 私の大好きなお父様	•	
			ドヴォルザーク「(ルサルカより) 月に寄せる歌」	•	
			モーツァルト「(ドン・ジョバンニより) 手を取り合って」	•	
			モーツァルト「(ドン・ジョバンニより) 暗闇にたった一人で	•	
			モーツァルト「(魔笛より) 復讐の心は地獄のように」、「(魔笛	•	
			より)パパゲーノとパパゲーナの二重唱」		
			その他 (「さくら幻想」、「ひとつぶのたね」、「コスモス高原合		
			唱団」、「WITH YOU SMILE」、「会津磐梯山」、「(天使にラブ・ソン		
			グを)Hail Holy Queen」)		
加西市民会館	11/14(日)	13:30	チャイコフスキー「くるみ割り人形」	23 名	800 名
			フォリャ「スペイン民謡組曲」		(中学
			宮城道雄「春の海」	•	生・保
			シューベルト「魔王」		者)
	I	1	//=		
			モーツァルト「(魔笛より) 復讐の心は地獄のように」		

	1	ı	ı			
				モーツァルト「(魔笛より) パ・パ・パの二重奏」		
				ヴェルディ「(アイーダより) 勝ちて帰れ!」		
				坂上和子「わたしのふるさと」		
				その他(「さくら幻想」)		
2	LICはびきの	10/8(土)	14:40	ブラームス「プレリュードとフーガ g-moll」	21名	218名
0				シュトラウス「(こうもりより) 序曲」		(一般)
0				シュトラウス「(こうもりより) では私ひとりで」		
5				シュトラウス「(こうもりより) 侯爵さま、あなたのような方		
年				は」		
度				シュトラウス「(こうもりより) しなやかな身のこなし」		
				シュトラウス「(こうもりより) 酒を飲むときには」		
				シュトラウス「ラデツキー行進曲」		
				シューベルト「アルペジョーネソナタ a-moll D821」		
				レハール「(メリーウィドーより)女を射止める手立ては」		
				モーツァルト「アイネクライネナハトムジューク」		
				その他(「ウィーンメドレーとして、ローレライ~野ばら~ウ		
				ィーンわが夢の町」)		
	神戸市立	10/27(木)	13:15		22 名	30名
	六甲アイランド			シュトラウス「(こうもりより) 序曲」		(音楽コ
	高等学校					ー ス 2・3
				團 伊久麿「ひぐらし」		年生)
				平井康三郎「九十九里浜」		
				ドップラー「アンダンテとロンド」		
				モーツァルト「アイネ・クライネ・ナハト・ムジューク」		
				モーツァルト「(コジ・ファン・トゥッテより) 可愛いデスピー		
				ナちゃん」		
				ロッシーニ「ヴェネツィアの競艇」		
				ルクレール「ソナタ 第1楽章」		
				プッチーニ「(ラ・ボエームより) 冷たき手を」		
				ラフマニノフ「ピアノソナタ第2番(改訂版)1楽章」		
				その他 (「ディズニーメドレー」、「Stand by me」、「Amazing		
				gracej)		
	京都府中丹文化	11/27(目)	14:00	リット「ハンギリ、Yret.H. ケーエ・	22 名	500名
	会館			リスト「ハンガリー狂詩曲 第二番」		(一般・
				プッチーニ「(ジャンニ・スキッキより) 私の大事なお父様」		幸楽会)
				ベネディクト「みそさざい」		
				ガーシュイン「協奏曲へ調」		
				源田俊一郎「ふるさとの四季」		
				ウェバー「(オペラ座の怪人より) スィンク・オブ・ミー」		
	1	1	•			

ピアソラ「天使へのイントロダクション・リベルタンゴ」
その他(「韓国歌曲 明太~(冬のソナタより)最初から最後
まで」、「ウエスト・サイド・ストーリー・メドレー」、「ディズニ
ー・ファンティリュージョン!」、「春風」)

また毎年、内外のコンクールに参加し、入賞者、2004年度2人、2005年度2人を出していることも教育目的の達成として評価し得るものである。

(3)第1節の改善・向上方策(将来計画)

大学専攻科は修業期間が1年と短く、複数年を通して反復的に積み重ねるような螺旋的な学修はできない。そのため学生自身が演奏会を完成させるオータム・コンサートの開催時期は、年間の全予定を考慮して、現在のように秋がふさわしい。

しかし、現行のオータム・コンサートのように、開催時期が短期間に集中する状況については、学生が準備段階において負担感を感じ、企画・制作・演奏の能力を修得するという科目設置当初の目的意識が薄い関わり方を招きがちである。オータム・コンサートは総合学習の場として、その場でしか学べないことも多々あり極めて重要な意義を持つ。その一方で、様々な演奏の機会を持つ学生にとってはソロやアンサンブルなどの練習時間の確保も重要であり、オータム・コンサートの企画・実施との両立を可能にするよう配慮する必要がある。

第2節 教育課程の編成方針に即した教育課程の設置状況

(1)事実の説明(現状)

教育課程の編成と編成方針に対する適切性

カリキュラムは年度ごと全学生に配付する学生便覧や、年度によっては毎年度発行される大学案内に詳細に明記している。大学案内には、「作曲」「声楽」「器楽」の3専攻が大学専攻科に開設していること、作曲専攻に「指揮」、声楽専攻に「演出」が設けられていることも明記している。また、大学専攻科の特色として、専攻科全体が交流する授業が導入され、各専攻の学生が協力して行う学習活動が行われること、また、専攻実技に重点を置く実践的な教育を行い、コンサートづくりを通じ社会で役立つ即戦力を身につける授業を行うことについても具体的に解説している。表3に2005年度のカリキュラム表を示す。本章の最後に表4、表5として教員数・学生数の資料を掲載した。

表 3 カリキュラム表 (2005年度)

作曲専攻(作曲)

科目名	単位算出	単位			
村 日 石	基準	必 修	必修選択		
作曲	実技	8			
作曲理論	実技	8			
作曲法特殊研究(対	演習	6			

作曲専攻(音楽学)

科目名	単位算出	単	位
村 日 名	基準	必 修	必修選択
演奏法(西洋古楽器	実技	8	
又は電子オルガン)	天汉	0	
作品研究	演習	4	

位法的技法の研究)			
作曲法特殊研究(民	演習		4
族音楽の近代化)	供自		4
作曲法特殊研究(現	演習		4
代音楽作品の研究)	供自		4
電子音楽研究	演習		2
楽書研究	演習		2
舞踊・音楽演習	演習		2
特別演奏実習I	実技		2
特別演奏実習Ⅱ	実技		2
修了作品	実技	6	
合計		28	18
修了要件単位	30 J	以上	

音楽学演習	演習	4	
アンサンブル実習	実技	4	
舞踏・音楽演習	演習	2	
日本・東洋音楽史特	講義		4
別講義	再我		4
西洋音楽史特別講義	講義		4
音楽美学特別講義	講義		4
民族音楽学特別講義	講義		4
楽書研究	演習		2
特別演奏実習I	実習		2
特別演奏実習Ⅱ	実習		2
修了研究	演習	6	
合計		28	22
修了要件単位	يا 30	以上	

作曲専攻 (オーケストラ・オペラ指揮) 作曲専攻 (合唱指揮)

下曲寺久(オーケハ)		4 . 人 1日1月	-/
4) H b	単位算出	単	位
科 目 名	基準	必修	必修選択
指揮実習	実習	8	
指揮法	講義	4	
指揮理論	講義	4	
スコア研究	演習	2	
管弦楽法研究	演習	2	
オペラ研究	実技		2
副科実技	実技		2
副科鍵盤楽器	演習		2
舞踊・音楽演習	演習		2
楽書研究	実技		2
特別演奏実習I	実技		2
特別演奏実習Ⅱ	演習		2
修了作品		6	
合計		26	12
修了要件単位		آ 30	以上

科目名	単位算出	単	位
	基準	必修	必修選択
合唱指揮実習	実習	8	
指揮理論	講義	4	
実践和声法	講義	4	
合唱曲テキスト研究	演習	2	
編曲法	演習	2	
副科声楽	実技		2
副科鍵盤楽器	実技		2
舞踊・音楽演習	演習		2
楽書研究	演習		2
特別演奏実習I	実習		2
特別演奏実習Ⅱ	実習		2
修了研究	演習	6	
合計		26	12
修了要件単位		30 以上	

作曲専攻(吹奏楽指揮)

科目名	単位算出	単	位
村 日 名	基準	必修	必修選択
吹奏楽指揮実習	実習	8	

声楽専攻 (声楽)

科目名	単位算出	単	位
科 日 名 	基準	必修	必修選択
声楽	実技	8	

指揮理論	講義	4	
実践和声法	講義	4	
吹奏楽レパートリー	>= 진진	0	
研究	演習	2	
編曲法	演習	2	
副科管打楽器	実技		2
副科鍵盤楽器	演習		2
舞踊・音楽演習	演習		2
楽書研究	実習		2
特別演奏実習I	実習		2
特別演奏実習Ⅱ	演習		2
修了研究	演習	6	
合計		26	12
修了要件単位		30 Å	以上

歌劇演習	演習	4	
演技演習 I	演習	2	
演技演習Ⅱ	演習	2	
歌曲演奏分析 I (含	## ¥		4
特別講義)	講義		4
歌曲演奏分析Ⅱ	演習		2
舞踊・音楽演習	演習	2	
オペラ研究	実習		3
ピアノ・声楽アンサ	講義		4
ンブル	神我		4
楽書研究	演習		2
楽曲分析	演習		2
特別演奏実習I	実習		2
特別演奏実習Ⅱ	実習		2
修了演奏	実技	6	
合計		24	21
修了要件単位		با 30	以上

声楽専攻 (演出)

广木守久(闽山)			
単位算出	単	位	
基準	必 修	必修選択	
実習	8		
講義	4		
講義	4		
講義	4		
演習	2		
実習		3	
実技		2	
実技		2	
演習		2	
演習		2	
実習		2	
実習		2	
演習	6		
合計		15	
修了要件単位		以上	
	実講講講演実実演演実実選者義義義習習技技習習習習習	基準 必修 実習 8 講義 4 講義 4 演習 2 実技 () 実技 () 実技 () 実習 () 変数 () 変数	

器楽専攻 (ピアノ)

科目名	単位算出	単	位
	基準	必 修	必修選択
ピアノ	実技	8	
ピアノアンサンブル I	実技		4
ピアノアンサンブルⅡ	実技		4
楽曲演奏分析	講義	4	
ピアノ特殊研究(含	演習	2	
特別講義) ————————————————————————————————————			
ピアノ・声楽アンサ	講義		4
ンブル			
楽書研究	演習		2
楽曲分析	演習		2
ピアノ指導法	講義		4
舞踊・音楽演習	演習	2	
特別演奏実習I	実習		2
特別演奏実習Ⅱ	実習		2
修了演奏	実技	6	
合計		22	24
修了要件単位		با 30	以上

器楽専攻 (オルガン)

科目名	単位算出	単	位
	基準	必 修	選択必修
オルガン	実技	8	
通奏低音奏法	実技	8	
楽曲演奏分析	講義	4	
オルガン特殊研究	演習	2	
(含特別講義)	供白	2	
舞踊・音楽演習	演習	2	
楽書研究	演習		2
楽曲分析	演習		2
特別演奏分析 I	実習		2
特別演奏分析Ⅱ	実習		2
修了演奏	実技	6	
合計		30	8
修了要件単位		با 30	以上

器楽専攻 (管・打)

科目名	単位算出	単	位
	基準	必 修	選択必修
管楽器	実技	いずれか	
打楽器	実技	8	
オーケストラ	演習	いずれか	
吹奏楽	演習	4	
室内楽	実技	4	
管弦打楽器特殊研究	定羽	2	
(含特別講義)	演習	2	
舞踊・音楽演習	演習	2	
楽曲演奏分析	講義		4
楽書研究	演習		2
楽曲分析	演習		2
特別演奏実習I	実習		2
特別演奏実習Ⅱ	実習		2
修了演奏	実技	6	
合計		26	12
修了要件単位		ر 30	以上

器楽専攻(弦)

加水子()(4)			
科目名	単位算出	単	位
	基準	必 修	選択必修
弦楽器	実技	8	
オーケストラ	演習	4	
室内楽	実技	4	
管弦打楽器特殊研究 (含特別講義)	演習	2	
舞踊・音楽演習	演習	2	
楽曲演奏分析	講義		4
楽書研究	演習		2
楽曲分析	演習		2
特別演奏実習I	実習		2
特別演奏実習Ⅱ	実習		2
修了演奏	実技	6	
合計		26	12
修了要件単位		يا 30	以上

器楽専攻 (邦楽)

科目名	単位算出	単	位
	基準	必 修	選択必修
筝	実技	8	
三絃	実技	4	
筝歌	演習	2	
筝合奏	演習	2	
邦楽演奏分析	講義	4	
舞踊・音楽演習	演習	2	
楽書研究	演習		2
組歌研究	演習		2
楽曲分析	演習		2
筝曲概論	講義		1
特別演奏実習I	実習		2
特別演奏実習Ⅱ	実習		2
修了演奏	実技	6	
合計		28	11
修了要件単位		30 以上	

教育課程の編成方針に即した授業科目と内容

大学専攻科が開講する各授業科目はその概要が「学生便覧」に、また具体的な学習教育の内容については「講義概要」にシラバス(学習支援計画書)として明記されている。

年間学事予定、授業期間の明示と適切な運営状況

年間授業予定については、学生便覧に学年暦(入学式、ガイダンス日、集中講義期間、 集中講義・補講日、創立記念日、前・後期試験日、卒業式、授業開始日、授業最終日が 記述)として明記している。また別冊の行事予定表として、年間学事予定の詳細を記し た小冊子が年度開始前に全教職員、全学生に配付されている。

年次別履修科目の上限と進級・卒業・修了要件

一 授業と単位 一

大阪音楽大学学則(単位算定基準)第34条に次のように定めている。

「1 単位の授業科目を 45 時間の学修を必要とする内容を持って構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修などを考慮して、次の基準により単位数を計算する。(1) 講義については、15 時間の授業をもって 1 単位とする (2) 演習については、30 時間の授業をもって 1 単位とする (3) 実験・実習および実技については、45 時間の授業をもって 1 単位とする (4) 個人指導による音楽実技の授業については、5 時間の授業をもって 1 単位とする (5) 科目において、授業時間外に必要とする学修の量およびその教育効果を測り 1 単位相当の授業時数を別に定めることがある。この場合、演習については 15 時間から 30 時間の範囲の授業をもって 1 単位とし、実験・実習・実技については 30 時間から 45 時間までの範囲の授業をもって 1 単位とする。 2. 卒業論文・卒業研究・卒業作品・卒業演奏等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して、単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修の内容を考慮して、単位を定める。」

一 修業年限と在学期間 一

修業年限については、学生便覧に「大阪音楽大学音楽専攻科第5条」として「専攻科の修業年限は1年とする。」と明記している。また大阪音楽大学学則第10条に「学年は4月1日に始まり翌年3月31日に終わる」と定めている。またその第11条に「学年を分けて次の2期の学期とする。前期4月1日から9月30日まで、後期10月1日から翌年3月31日まで」と定めている。在学期間については、大阪音楽大学学則第29条に「本学の学年で次の各号の1に該当するものはこれを除籍する。(1)修業年限の2倍の期間を経過してもなお卒業に必要な単位を修得できない者」と定めている。

一 卒業要件と単位数 一

卒業要件については、学生便覧に「大阪音楽大学音楽専攻科第7条」として「専攻科に1年以上在学し、選択科目を含めて30単位以上を取得することを修了要件とする。」 と明記している。 単位数については、学生便覧に「大阪音楽大学音楽専攻科第9条〔授業科目、単位数 および履修方法〕」として明記されており、同じく学生便覧に「別表第 I 〈履修規程〉」として詳細に明記している。

教育・学習結果の評価の適切性・評価結果の活用状況

学生便覧の教授内容及び試験内容に専門実技の「評価の基準」が明記されており、講 義概要に全科目の「成績評価の方法」を明記している。

(2)第2節の自己評価

必修科目のみで修了要件単位 30 単位となっており、選択科目の履修がかなり困難になっている。

学生便覧の教授内容及び試験内容に、専門実技の「評価の基準」が明記されていないものがある。また講義概要における「成績評価の方法」は、科目によって明記がされていないものもある。

(3)第2節の改善・向上方策(将来計画)

運営会議を中心として選択科目の意義を確認しつつ、必修科目修得数の適正化について関係専門部会と連絡を取りながら、修了要件単位に占める必修科目の単位数を減らす方向で検討する必要がある。

学生便覧の教授内容及び試験内容における専門実技の「評価の基準」、講義概要における「成績評価の方法」の表記の統一を図り、明記する。

第3節 特色ある分野における教育内容・方法

(1) 事実の説明(現状)

— 特別演奏実習 I · II —

年複数回のオータム・コンサート(特別演奏実習 I・Ⅱ)は、外部から施設提供およびプログラムや企画内容などの希望を受け、外部団体とのコラボレーションを経つつ行われている。学生は企画・制作およびマネージメント的側面(交渉など)を含めた実社会でのコンサート上演形式とその段取りなどを通してコンサートの一通りを実践的に学ぶことができる。

一 舞踊·音楽演習 —

全専攻生必修の科目で、ヨーロッパの音楽の根底にあるリズム感を実体験することによって、身体演技を体得することを目指し、全学生が専攻を越えて交流し、楽しく学べる授業として設定してある。

一 特別講義 一

学生へのさらなる啓発や意欲の換起を促す場として、国内外の第一線で活躍している 様々な音楽家や研究者、文化人を講師に迎え「特別講義」を行っている。いずれもその 専門における卓越した技術、深い研鑽に裏打ちされた教示や見識は学生に対して意識の 覚醒を促し、志を新たにさせるものとなっている。2003年度3回、2004年度7回、2005 年度4回行われている。

(2)第3節の自己評価

オータム・コンサート (特別演奏実習 I・Ⅱ) は、個々人の卒業後の実践的な音楽活動の先駆けとなるものであり、学生には得難い体験的学修の場となっている。その一方で、回数の多さや参加者の自発性が求められるというこの科目の特性もあって、消極的な学生や科目の意図をよく理解しない学生の参加が生じ易い側面もみられる。

舞踊・音楽演習は全学生が専攻を越えて交流し、楽しく学べる授業として設定してあることから、オータム・コンサート(特別演奏実習 I・Ⅱ)も実践的内容となっている。また、学生の満足度も高い。

特別講義では、いずれもその専門における卓越した技術や、深い研鑽に裏打ちされた 教示と見識が講師の側から学生に対して向けられ、学生に更なる意識の覚醒を促したり、 志を新たにさせるものとして役立っている。

(3)第3節の改善・向上方策(将来計画)

オータム・コンサート (特別演奏実習 I・II) 実施方法についての開催回数を含めて 再度検討する必要がある。また、全学生の参加意欲を促すために全教員が機会あるたび に科目設置の意義や意図を更にしっかりと周知する必要がある。

〔第 章の自己評価〕

第Ⅲ章.第2節.⑤の「教育・学習結果の評価の適切性・評価結果の活用状況」を除く 各項目について、大学専攻科は適切に実施あるいは対応できていると判断できる。幾つ かの課題としては、以下に示す。

- ・ 第Ⅲ章. 第 2 節. ⑤の項目に関して、学生便覧の教授内容及び試験内容における専門 実技の「評価の基準」、講義概要における「成績評価の方法」の表記内容とその方法 においてばらつきが見られ、学生にとって解りにくいものとなっている。
- ・ 本来オータム・コンサートが果たす教育的役割の有無と軽重は開催回数の多寡よりも その中味や質のあり方によるものであり、その観点からすると現在のオータム・コンサート開催回数についても十分に検討する必要がある。
- ・ 必修科目だけで修了要件単位30単位となっている現在、選択科目の履修が困難になっている。

〔第 章の改善・向上方策(将来計画)〕

上記〔第Ⅲ章の自己評価〕にて報告した検討課題における今後の改善・向上方策を以下に示す。

・ 学生便覧の教授内容及び試験内容における専門実技の「評価の基準」、講義概要にお

ける「成績評価の方法」の表記の徹底を図る。

- ・ 本来の意図に添ったさらなる質と深さを伴うオータム・コンサートの実現をはかる。
- ・ 選択科目開講の意義を考えれば、選択科目履修の機会を現在以上に増大させるべきであり、そのためには修了要件単位に占める必修科目と選択科目のあり方を見直す必要がある。必修科目の削減を含め、大学専攻科運営会議が各専攻部会と連絡を取りつつ実現して行くべきである。

表 4 専攻別の教員・学生数 (2003~2005 年度)

2003 年度		担当教員数	学生数
作曲専攻	オーケストラ・オ ペラ指揮	9	1
	合唱指揮	4	1
声楽専攻	声楽	19	12
器楽専攻	ピアノ	19	8
	邦楽	5	2

2004	年度	担当教員数	学生数
声楽専攻	声楽	14	11
	演出	10	1
器楽専攻	ピアノ	13	7
	管・打	7	2
	弦	10	1
	邦楽	5	1

2005	年度	担当教員数	学生数
声楽専攻	声楽	18	11
器楽専攻	ピアノ	15	7
	管・打	11	4

専攻横断する共通科目の担当教員については各専攻に重複して計上している。

表 5 授業科目、レッスン科目の担当教員数 (2003~2005年度)

○ 2003 年度

作曲専攻(オーケストラ・オペラ指揮)

科目名 担当教員数 助手 指揮実習 4 指揮法 1 指揮理論 1 1 スコア研究 1 管弦楽法研究 1 舞踊・音楽演習 1 1 特別演奏実習I 1 特別演奏実習Ⅱ 1 修了研究 1

作曲専攻(合唱指揮)

科目名	担当教員数	助手
合唱指揮実習	1	
指揮理論	1	
実践和声法	1	
合唱曲テキスト研究	1	
編曲法	1	
舞踊・音楽演習	1	1
特別演奏実習 I	1	
特別演奏実習Ⅱ	1	
修了研究	1	

声楽専攻 (声楽)

科目名	担当教員数	助手
声楽	7	
歌劇演習	5	3
演技演習 I	1	1
演技演習Ⅱ	5	3
歌曲演奏分析 I(含特別講義)	1	1
歌曲演奏分析Ⅱ	2	1
舞踊・音楽演習	1	1
ピアノ・声楽アンサンブル	1	
特別演奏実習 I	1	
特別演奏実習Ⅱ	1	
修了演奏	1	

器楽専攻(ピアノ)

科目名	担当教員数	助手
ピアノ	8	
ピアノアンサンブル I	1	1
ピアノアンサンブルⅡ	1	5
楽曲演奏分析	5	
ピアノ特殊研究(含特別講義)	4	
ピアノ・声楽アンサンブル	1	
楽曲分析	1	
ピアノ指導法	1	
舞踊・音楽演習	1	1
特別演奏実習 I	1	
特別演奏実習Ⅱ	1	
修了演奏	1	

器楽専攻 (邦楽)

科目名	担当教員数	助手
筝	1	
三絃	1	
筝歌	1	

筝合奏	1	
邦楽演奏分析	1	
舞踊・音楽演習	1	1
組歌研究	1	
筝曲概論	1	
特別演奏実習 I	1	
特別演奏実習Ⅱ	1	
修了演奏	1	

○ 2004 年度

声楽専攻 (声楽)

科目名	担当教員数	助手
声楽	10	
歌劇演習	5	3
演技演習I	1	1
演技演習Ⅱ	5	3
歌曲演奏分析 I(含特別講義)	1	1
歌曲演奏分析Ⅱ	2	1
舞踊・音楽演習	1	1
オペラ研究	6	
ピアノ・声楽アンサンブル	1	
特別演奏実習 I	1	
特別演奏実習Ⅱ	1	
修了演奏	1	

声楽専攻 (演出)

科目名	担当教員数	助手
演出実習	3	
演出法	1	
舞台・制作研究	1	
作品研究	1	
舞踊・音楽演習	1	1
オペラ研究	6	
特別演奏実習 I	1	
特別演奏実習Ⅱ	1	
修了研究	1	

器楽専攻 (ピアノ)

科目名	担当教員数	助手
ピアノ	7	
ピアノアンサンブル I	1	
ピアノアンサンブルⅡ	1	5
楽曲演奏分析	3	
ピアノ特殊研究(含特別講義)	3	
ピアノ・声楽アンサンブル	1	

器楽専攻 (管・打)

科目名	担当教員数	助手
管楽器	2	
吹奏楽	1	
室内楽	1	
管弦打楽器特殊研究(含特別講義)	1	
舞踏・音楽演習	1	1
楽書研究	1	

楽書研究	1	
楽曲分析	1	
ピアノ指導法	1	
舞踊・音楽演習	1	1
特別演奏実習 I	1	
特別演奏実習Ⅱ	1	
修了演奏	1	

楽曲分析	1	
特別演奏実習 I	1	
特別演奏実習Ⅱ	1	
修了演奏	1	

器楽専攻(弦)

科目名	担当教員数	助手
弦楽器	1	
オーケストラ	5	
室内楽	1	
管弦打楽器特殊研究(含特別 講義)	1	
舞踏・音楽演習	1	1
楽書研究	1	
楽曲分析	1	
特別演奏実習 I	1	
特別演奏実習Ⅱ	1	
修了演奏	1	

器楽専攻 (邦楽)

科目名	担当教員数	助手
筝	1	
三絃	1	
筝歌	1	
筝合奏	1	
邦楽演奏分析	1	
舞踊・演奏演習	1	1
組歌研究	1	
筝曲概論	1	
特別演奏実習 I	1	
特別演奏実習Ⅱ	1	
修了演奏	1	

○ 2005 年度

声楽専攻 (声楽)

科目名	担当教員数	助手
声楽	8	
歌劇演習	5	3
演技演習 I	1	1
演技演習Ⅱ	4	3
歌曲演奏分析 I(含特別講義)	1	1
歌曲演奏分析Ⅱ	2	1
舞踊・音楽演習	1	1
オペラ研究	4	
ピアノ・声楽アンサンブル	1	

器楽専攻 (ピアノ)

科目名	担当教員数	助手
ピアノ	7	
ピアノアンサンブル I	1	
ピアノアンサンブルⅡ	1	4
楽曲演奏分析	3	
ピアノ特殊研究(含特別講義)	2	
ピアノ・声楽アンサンブル	1	
楽曲分析	1	
ピアノ指導法	1	
舞踊・音楽演習	1	1

特別演奏実習I	1	
特別演奏実習Ⅱ	1	
修了演奏	1	

特別演奏実習 I	1	
特別演奏実習Ⅱ	1	
修了演奏	1	

器楽専攻(管・打)

科目名	担当教員数	助手
管楽器	2	
吹奏楽	1	
室内楽	1	
管弦打楽器特殊研究 (含特別講義)	1	
舞踏・音楽演習	1	1
楽書研究	1	
楽曲分析	1	
特別演奏実習 I		
特別演奏実習Ⅱ	1	
修了演奏	1	